

5月診療のご案内 ご予約は048-556-4581(代)へ

予約外でお越しいただく患者さまへ

●内科の受付時間は、診療終了時間の30分前までとなります。●歯科は完全予約制となりますので急患の場合はご連絡ください。
※なお、発熱が続くなど新型コロナウイルス感染症が疑われる場合は事前にご連絡ください。

診療時間		月	火	水	木	金	土
内科	午前 月～土曜日 8:30～12:00	植山 胃カメラ・西巻	富澤 井上	井上 植山	菊池 胃カメラ・西巻	武石・野田 栄養相談・安達	吉野(第1) 植山(第3) 井上(第4・5)
	夜間 火曜日 17:00～19:00		富澤				
歯科	午前 月～土曜日 8:30～12:00	松澤	荒木	早田(真)	早田(真)	松澤	松澤 (第1・3・5)
	午後 月、火、金曜日13:00～17:00 木曜日.....13:00～16:00	吉崎	早田(真) 摂食嚥下 山崎 (第4)	松澤	松澤	早田(幸)	
	夜間 木曜日.....17:00～19:30				松澤		
訪問診療	内科 午後	植山	井上	井上		武石・野田	
	歯科 午前	吉崎	早田(真)	担当医	松澤	早田(幸)	
	午後	松澤	荒木	早田(真)	早田(真)	松澤	

休診日/日曜・祭日、第2土曜日(内科・歯科)、第4土曜日(歯科)
医療福祉相談/毎週木曜日(祭日休)9時～12時45分 診療所相談室

医療福祉、介護などの相談を行っています。相談を希望される方は受付職員におたずねください。

行田市胃カメラ検診のご案内(6月より)【毎週 月・木・金曜日実施】

行田市にお住まいの40歳以上の方が対象です(市の胃レントゲン検診及び人間ドック等で胃カメラ検診を受けた方は対象外)。胃カメラ検診は月・木・金曜日の午前中に予約をお取りできます。費用は3,000円です。ぜひご予約ください。

フードパントリーのお知らせ

【毎月第3土曜日開催】

5月15日(土) 13:00～14:00
オシノテラス 地域交流スペース

生活にお困りの方であれば、どなたでもご遠慮なくお越しください。また、食品や食材の提供が可能な方のご協力もお待ちしております。

うきしるカフェのご案内(認知症カフェ)

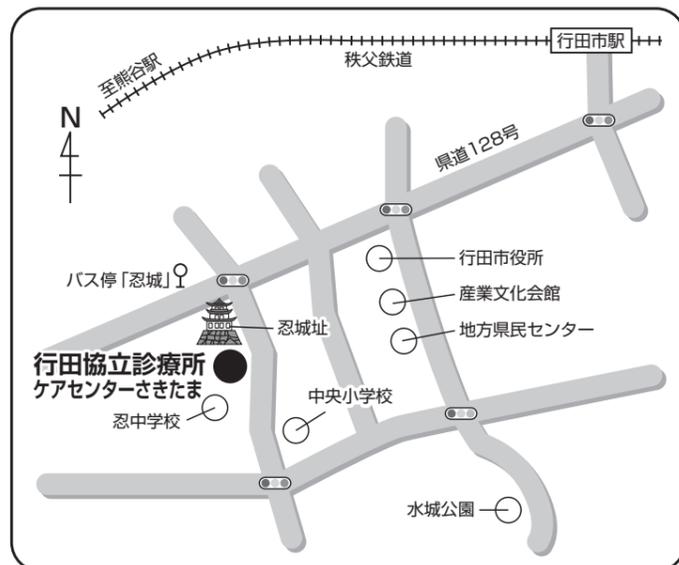
6月9日(水) 14:00～15:30
オシノテラス 地域交流スペース
再開に向けて準備中です。



ホームページは現在、更新作業中です。

急性期症状のある方の受診について

発熱・咳、呼吸困難、味覚異常などの症状がある方は、直接来院せずに、あらかじめ行田協立診療所へ電話を入れていただくようお願いいたします。 ☎048-556-4581



お城の見える診療所 第351号

きょうりつだより

2021年 (http://www.gyouda-clinic.coop/) 工事中 通所リハビリたびくらもオシノテラスで体操

5
月号

医療生協さいたま生活協同組合 〒361-0052 行田市本丸18-3

行田協立診療所 内科・歯科・在宅医療 048-556-4581

短時間通所リハビリテーションたびくら 048-501-8740

ケアセンターさきたま (居宅介護支援・訪問介護・定期巡回訪問看護・訪問看護・小規模多機能ホーム) 048-556-4612



6月より行田市特定健診が始まります。

.....コロナ禍だからこそ 健康診断は大切です

健康維持、病気の早期発見のため 年に1回は健康診断を受けましょう。

行田市より受診券が届きましたらご予約出来ます。

期間:2021年6月1日から2022年2月28日まで



●行田市特定健康診査・後期高齢者健康診査

行田市国民健康保険にご加入の40歳以上の方が対象です。

受診券は、健診当日にご持参ください。

特定健康診査 40歳～69歳:500円

後期高齢者健康診査 70歳以上:無料

健診ご希望の方は、事前のご予約をお願い致します。来院もしくはお電話でお受け致します。診療所では市健診の他にも企業向け健診も行っております。 お問合わせ先 556-4581(代)

ご注意

特定健康審査・後期高齢者健康審査は行田市国保ドックとの併用は出来ません。

●個別検診(がん検診他)も併せてご予約を

行田市にお住まいの40歳以上の方が対象です。(加入の健康保険を問わず受診できます。)

項目	40歳～69歳	70歳以上
胃カメラ	3,000円	3,000円
大腸がん	500円	無料
肝炎ウイルス	500円	無料

●ヤング健診も実施しています

39歳以下の行田市にお住まいの方で健診を受ける機会がない方は、ヤング健診が受けられます。本人負担1,000円で、身長・体重・血圧・尿検査・採血検査等が受けられます。

前年度から新たに胃カメラ検診が始まりました。診療所では毎週月・木・金曜日に受けられます。予約制となりますので、受付窓口へお問い合わせください。

※前立腺の個別健診は廃止されました。

発熱チェックや換気など感染症対策には万全を期しておりますので、安心してお越しください。

医師紹介 金曜日の午前外来と午後の訪問診療の担当医を紹介します。



野田 康弘 医師 所属：日本大学板橋病院

専門は消化器肝臓内科、趣味はデッサン、座右の銘は「三度肘を折って良医となる」 恩師の言葉です。2019年3月まで当診で診療していました。改めてよろしくお願いします。

武石 彩 医師 所属：日本大大学板橋病院

専門は消化器肝臓内科、趣味は料理。座右の銘は「一期一会」 素敵な出会いがあるといいですね。金曜日の胃カメラも担当します。

職員人事のお知らせ

訪問看護ステーションさきたま管理者の黒木 秀子が秩父ケアステーションへ異動しました。訪問看護ステーション管理者は矢澤 幸となります。



前 訪問看護ステーションさきたま管理者：黒木 秀子

訪問看護さきたまに7年間お世話になりました。やりがいのある素晴らしい職場でした。ありがとうございました。5月から秩父でも楽しんで仕事します。



就任のごあいさつ：矢澤 幸

5月11日付で訪問看護ステーションさきたまの管理者に就任いたしました。在宅での生活を安心して過ごせようスタッフ一同サポートしてまいります。よろしくお願いいたします。

組合員活動ニュース

地域のちょっとした困りごとを組合員同士の助け合い「くらしサポーター」で解決！(有償ボランティア)

医療生協の「くらしサポーター」募集中

話し相手・みまもり・ひとりでできないお掃除・洗濯・食事づくり…など、ちょっとした困りごとを、みんなのちょっとしたチカラで助け合いをしていきませんか。興味のある方は説明会にどうぞお越しください。

「くらしサポーターって何？」説明会をおこないます

場所：行田協立診療所 地域交流スペース(オシノテラス)

日時：① 5/28(金) 10:30～12:00

② 6/ 3(木) 14:00～15:30

③ 6/18(金) 14:00～15:30

何をサポートするの？ 具体的内容は
費用弁償とか報酬や保険は
サポートする側・受ける側、よかったこと…など

ぜひのぞいて
みて下さい。



※各回、内容は同じ予定です。どなたでも参加できます。

お問合せ先：048-556-6755(直通) 菊池まで

お気軽にご利用ください

診療所敷地内の地域交流スペース「オシノテラス」

オシノテラスは地域の方々に広く使ってもらう無料開放スペースです。休憩や自習、学習会や体操などで使用でき、利用料は一切かかりません。交流スペース内のIHキッチン、冷蔵庫、電子レンジ、トイレ等の設備は、時間内であればいつでも使用できます。また、オシノテラス内はフリー wi-fi対応エリアです。

- 開放時間は月～土曜の8:30～20:00 日曜・祝日はお休みです。
- 団体利用は9:00～11:30と13:00～15:00の間で事前予約制です。
- ※団体予約は正面入口カレンダーに団体名・利用時間・代表者・連絡先を記入してください。
- ※3密回避、手指消毒、咳エチケットに留意し、具合の悪い場合は利用を控えてください。



ケアセンター通信 ～ケアセンターさきたま～

「5月病」と「コロナうつ」にご用心を

新年度を迎え、社会人として働き始めた方、また転職などで環境が大きく変化した方も多いのではないのでしょうか。新しい生活環境についていけないことや人間関係などが原因で、「5月病」と呼ばれる状態になる危険性が高い時期に入ってきています。

また、コロナ禍での精神的不安や閉塞感から、「コロナうつ」と呼ばれる適応障害を起こす方も増えています。「5月病」もそうですが、やる気の低下や倦怠感、食欲低下などの症状が出現します。「コロナうつ」では精神症状だけでなく、発熱や不眠、動悸といった深刻な身体症状が出る例もあります。今回はそんな状態にならないための対処方法をお話します。気分転換をしつつ、生活習慣を見直してこの時期を乗り切りましょう。

●コミュニケーションを取りましょう

家族や気のおけない仲間と、悩みを相談したり会話をする機会を持つようにしましょう。SNSでもいいのですが、正しい感染症対策をした上で対面での交流も大切です。コロナウイルス感染症のネット情報に一喜一憂せず、時には無視しましょう。

●栄養バランスのとれた食事を摂りましょう

主食・主菜・副菜を組み合わせ、季節のものを摂るなどして偏りをなくすよう心がけましょう。

●体を動かすことは気分転換にもなります

外でウォーキングをしたり、簡単な体操をするなどして定期的な運動習慣を身に付けましょう。外気に触れ、季節の息吹や風の流れることなどで気分転換をはかりましょう。

●ダメだと思ったら心療内科や精神科の受診を

うつ状態になることは誰でも起こりうることです。本人の気の持ちようではありません、本人はもちろん限界だと感じた時は家族やまわりの方も気づいてあげてください。その時は迷わず専門医に相談しましょう。

